

一関第二高校 1 年生ミニ講義 実施報告

日時：平成 29 年 10 月 10 日（火） 11 時から 11 時 40 分

場所：岩手大学理工学部 12 番講義室

参加者：一関第二高等学校 1 年生約 80 名

題目：地震のおはなしー地震の揺れを予測するにはー

一関第二高校 1 年生 80 名のみなさんが理工学部の見学に来てくれました。理工学部の紹介を広報委員から簡単に説明した後に、ミニ講義をさせていただきました。

一関市は、東日本大震災時に地震の揺れによる大きな被害を受けた場所です。一般に東日本大震災では津波による沿岸部の被害が甚大でしたが内陸部でも本震のみならず 11 年 4 月 7 日深夜に発生した余震においても多数の被害を受けています。我々の研究室では震災直後には一関市における本震時余震時の揺れを把握するために大規模なアンケート調査を実施して、市内の区域ごとの揺れの違いを明らかにし被害との相関を調査しました。また、その結果を受けて、一関市市内における微動探査により地盤の強度（S 波速度）を調査し、被害には地盤状況の影響を強く受けることを実証しました。

高校生は一関在住の生徒が多く、自分のこととして興味を持って講義を聞いてくれたようです。